

6月は環境月間です

あなたは環境にやさしい行動を
実践していますか？



具体的な取り組み(例)

- ① 自家用車の利用を控えるにする。
(健康の為に、車に頼らず、徒歩や自転車の利用に努めましょう。また公共交通機関を極力利用しましょう)
- ② アイドリングストップを実践する。
- ③ エコドライブを心掛ける。
(安全運転のためにも、急発進・急停止などは控えましょう)
- ④ 冷暖房の利用を控えるにする。
(着る服の量を調節しましょう)
- ⑤ 風呂には時間の間隔をあけずに続けて入るなど、燃料の浪費を防ぐ。
- ⑥ こまめに電源を切る。
- ⑦ テレビのつけっ放しなど、無駄な電気の使用を控える。
- ⑧ シャワー時間を減らすなど、節水をする。
- ⑨ 低燃費車など、熱効率が良く省エネに配慮した家庭用機器を購入する。
- ⑩ 買い物時は、本当に必要なものだけ買う。
- ⑪ 買い物袋を持ち歩くなどして、レジ袋の受け取りや過剰包装を断る。
- ⑫ ものを長く大切に使い、むやみに買い替えたりしない。
- ⑬ もの修理したり、工夫して加工したりして、再利用する。
- ⑭ 量り売りをしている商品や、詰め替え用の商品を買うようにする。
- ⑮ リサイクル出来る商品を買う。
- ⑯ リサイクルごみへの排出に努める。

無駄な出費削減例

- 【例1】 テレビのつけっ放しを1日1時間減らすと、年間約1,160円の電気料が浮きます。
- 【例2】 自動車に乗る時、アイドリングを1日5分やめると、年間約2,800円のガソリン代が浮きます。
- 【例3】 5人家族が1日3分、水の無駄遣いをやめると、年間約3,100円の水道代が浮きます。

⑰ リサイクル品を利用して作られた商品を買う。

⑱ 生ごみは堆肥化に努め、ごみ収集に出さない。

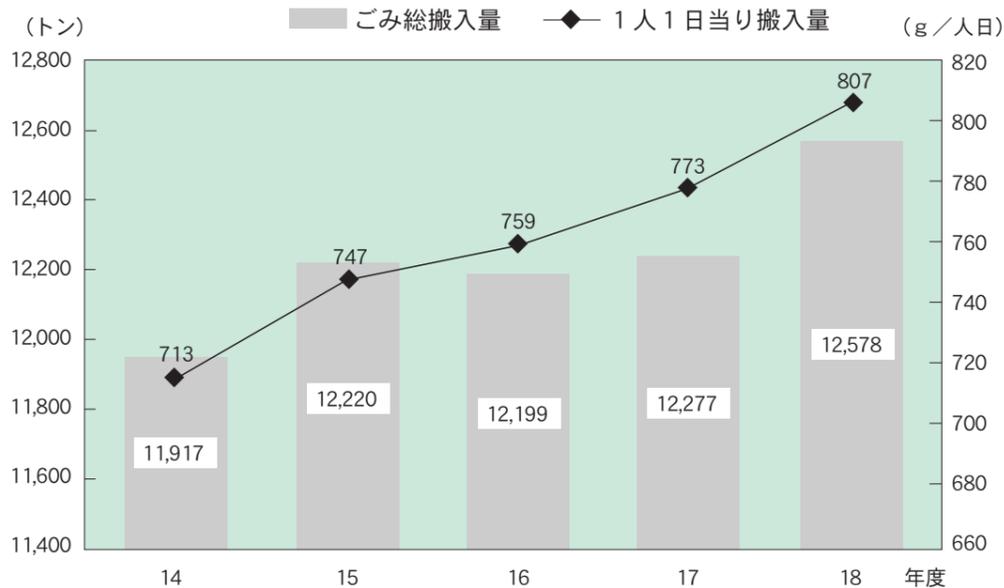
⑲ メモ用紙は裏紙を有効利用する。

⑳ ドレッシングやシャンプーは適量を使う。

他にもまだまだ取組み例はありますが、これらの取組みにより資源やエネルギーの無駄な使用が抑えられ、それが結果的に無駄な出費を防ぐことにつながります。

また、特に皆さんにとって一番身近なごみ問題の解決に有効な取組み(ごみの減量化 ⇄ 再利用 ⇄ リサイクル)が、地球温暖化防止にも役立つことに注目してください。

クリーンリサイクルセンターへのごみ搬入量推移



※ 1人1日当りのごみ搬入量 = (家庭ごみ収集量 + 事業者等による搬入量) ÷ 人口 ÷ 365日 (または366日)

《参考》◆ 1人1日当りのごみ排出量 (g/人日)
平成17年度実績 全国平均1,117 (g/人日) 秋田県平均1,131 (g/人日)
◆ 秋田県では、1人1日当りのごみ排出量を平成22年度には890 (g/人日) に削減する目標を掲げています。

ごみの搬入量が増えています

ごみの排出量が増えている理由として、人口が減少している一方で世帯数が増えていることが挙げられます。

近年、全国的にはごみの排出量は減っている傾向ですが、秋田県では逆に増えていると報告されています。

市民の皆さんは、日頃の生活様式の中に、一つでも多くの「無駄」を発見し、ごみの減量化に努めましょう。

財布にもやさしい地球温暖化対策

現在、私たちを取りまく環境は、地球温暖化や資源・エネルギー問題などの地球規模のものから、ごみ問題や生活環境問題などの身近なものまで、様々な課題を抱えています。

自然豊かな北秋田市や美しい地球を子孫に引き継いでいくためには、皆さん一人ひとりが将来に対し責任を持った行動を実践していく必要があります。

しかしながら、最初からあれもこれもかえって息切れしてしまいますので、まずは、出来ることから少しずつ始めてみませんか？

「地球温暖化問題」・・・今となっては、誰もが一度は耳にしたことのある言葉だと思えます。

地球の温暖化がなぜ問題なのかというと、二酸化炭素(CO₂)を始めとした地球を暖めるガス(温室効果ガス)が大気中に増えすぎると、地球の温度が上がります。異常気象が多発する・食糧や水の確保が難しくなる・新たな病気が発生するなど、私たちの生活に様々な悪影響を及ぼすからです。

地球の温暖化を少しでも遅らせ、防止するためには、日頃の生活から無駄を省き、二酸化炭素などの温室効果ガスを不必要に発生させない心掛けが大切です。

(このことが、結果的には無駄な出費を抑えることにつながります)

地球温暖化のメカニズム

